

令和 8 年度 全国学力・学習状況調査の結果について

1 名古屋市の実施状況

	学校数（校）		児童・生徒数（人）	
	名古屋市（公立）	全国（公立）	名古屋市（公立）	全国（公立）
小学校	259	18,077	17,065	922,778
中学校	111	9,146	14,967	842,491

（令和 8 年 4 月 23 日に実施した学校について集計）

2 教科に関する調査結果

- ・ 小学校 6 年生については、全国平均と比べ、国語、算数ともに同程度の結果であった。
- ・ 中学校 3 年生については、全国平均と比べ、国語は同程度、数学は高く、英語はやや高い結果であった。

○ 公立の教科区分別平均正答率(%) (全国・愛知県との比較)

教科	年度	小学 6 年生			中学 3 年生		
		名古屋市	愛知県	全国	名古屋市	愛知県	全国
国語	8	60 (7.8/13)	59	60.9	64 (9.7/15)	64	63.9
	7	66	65	66.8	55	54	54.3
	6	66	65	67.7	57	58	58.1
算数・数学	8	57 (9.1/16)	55	56.4	61 (9.7/16)	59	57.0
	7	59	58	58.0	51	51	48.3
	6	65	64	63.4	56	55	52.5
英語	8				518	512	499
	5				51	50	45.6
	1				58	57	56.0

※ 8 年度（ ）の数字…平均正答数／問題数(問)

※ 中学校英語は平均 I R T（500 が基準となる）

3 教科に対する学習意欲に関する調査結果

- ・ 小学校6年生については、全国平均と比べて国語は低く、算数はやや低いという結果であった。
- ・ 中学校3年生については、全国平均と比べて国語はやや低く、数学と英語はやや高いという結果であった。

○ 教科に対する学習意欲に関する質問のうち肯定的な回答の割合（％）

教科	年度	小学校6年生			中学校3年生		
		名古屋市	愛知県	全 国	名古屋市	愛知県	全 国
国語	8	71.7	72.4	76.4	72.6	70.7	74.1
	7	72.3	72.8	77.2	72.6	70.7	74.4
	6	74.7	76.5	80.5	78.6	76.3	79.2
算数 数学	8	74.0	74.5	75.4	71.1	68.6	68.9
	7	75.0	74.8	75.9	66.9	65.3	63.1
	6	78.3	78.2	79.1	74.0	67.4	70.5
英語	8				69.5	66.4	67.7
	5				68.5	66.2	67.8
	1				69.9	68.0	69.1

※ 児童生徒質問調査の「教科に対する学習意欲に関する質問」のうち、
「国語(算数・数学、英語)の勉強は好きだ」
「国語(算数・数学、英語)の授業の内容はよく分かる」
「国語(算数・数学、英語)の授業で学習したことは、将来、社会に出たとき役に立つ」
の3つの質問に対して、「当てはまる」、「どちらかという当てはまる」と回答した児童生徒の割合。

4 児童生徒質問調査結果の特徴

(1) 児童生徒のよいところが見られる項目

	項目内容	名古屋市(%)	全国(%)
小学校	学校に行くのは楽しい	87.0	85.7
	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある	92.7	92.5
	自分と違う意見について考えるのは楽しい	78.6	77.9
	自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表している	73.8	66.4
中学校	学校に行くのは楽しい	86.5	85.4
	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある	92.6	91.0
	自分と違う意見について考えるのは楽しい	79.7	78.6
	自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表している	71.6	65.5

(2) 伸ばしていきたい項目

	項目内容	名古屋市(%)	全国(%)
小学校	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる	78.1	78.4
	授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりすることができる	79.4	80.8
中学校	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる	77.4	79.0
	授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりすることができる	76.4	78.0

(3) 児童生徒質問調査から見られる名古屋市の傾向

- ・ 小中学校ともに「学校に行くのは楽しい」「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある」と回答している割合が高い。
- ・ 「自分と違う意見について考えるのは楽しい」「自分の考えがうまく伝わるよう、工夫して発表している」と回答している児童生徒の割合は全国と比較して高い。
- ・ 小中学校ともに「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる」「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えたり生かしたりすることができる」と回答している児童生徒の割合は、全国と比較して低い。

5 今後の対応

- ・ 教育委員会は、これまでの学力向上に向けた取り組みを振り返り、全市の分析結果や文部科学省から8月以降に示される分析データをもとに、各教科の学習課題や授業改善例を作成し各学校へ配信する。
- ・ 教育委員会は、各学校の授業・指導方法の具体的な改善策を把握し、助言を行う。
- ・ 各学校は、自校の結果を分析し、授業・指導方法の改善に向けて取り組むとともに、結果及び改善策を保護者に周知する。

6 学校別の平均正答率等の公表

名古屋市としては、本調査の実施要領に則り、学校別の平均正答率等を一覧にした公表は行わない。

(令和8年8月7日提出 教育支援部義務教育課)